

エコアクション21

2023年版 環境経営レポート



2024年 1月竣工

工事名:桑ノ川山(4)復旧治山工事(明許)

発注者:四国森林管理局 嶺北森林管理署

発行年月日 2024年 3月 25日

株式会社 不二土木

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営活動計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日： 2024年 3月 25日

発行責任者：環境管理責任者 片岡 弘樹

次回発行予定： 2025年 3月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 不二土木

【代表者氏名】 代表取締役 尾崎 二徳

【所在地】

本社 高知県吾川郡仁淀川町寺村 1459 番地
倉庫 高知県吾川郡仁淀川町寺村 1784 番地1
資材置場 高知県吾川郡仁淀川町寺村 1769 番地2

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 技術員 片岡 弘樹
連絡先担当者 総務部長 片岡 由香
連絡先 TEL:0889-35-0421
FAX:0889-35-0546
E-mail: fujidoboku@abelia.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業(主に地山工事、山腹工事など土木工事を行っています。)

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可(特-3)第 517号
高知県知事 許可(般-3)第 517号

許可年月日 2021年12月2日

有効年月日 2026年12月1日

建設業の種類

(特-3)第 517号 土木工事業
(般-3)第 517号 とび・土木工事業 石工事業
舗装工事業 しゅんせつ工事業
水道施設工事業 解体工事業

【事業規模】

設立年月日 1963年 6月設立

資本金 20,000千円

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
製品生産量・出荷額(売上高) (千円)	220.410	157.79	112.66
従業員数 (名)	14	14	14
事業所敷地面積 (m ²)	500	500	500
事業所延べ床面積 (m ²)	235	235	235

従業員数は、2023 年 1 月 5日現在

会計年度 2022年 1月 ~ 12月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社 不二土木 全社

本社、倉庫の住所を列挙する。

本社	高知県吾川郡仁淀川町寺村	1459番地	(常駐者： 2名)
倉庫	高知県吾川郡仁淀川町寺村	1784番地1	(常駐者： 1名)
資材置場	高知県吾川郡仁淀川町寺村	1769番地2	

対象事業の建設業(土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業)

【レポートの対象期間】

2023年 1月 ~ 2023年 12月

【環境経営レポートの発行日】

2024年 3月 25日

【作成責任者】

環境管理責任者

片岡 弘樹

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社不二土木は、高知県仁淀川町、嶺北地区を対象に事業活動を行っている企業として建設工事による環境への影響を考慮し、資源の有効利用による省資源・省エネルギー化を図りあらゆる場面において環境保全を意識し、継続的改善による環境経営を行なっていきます。

【基本方針】

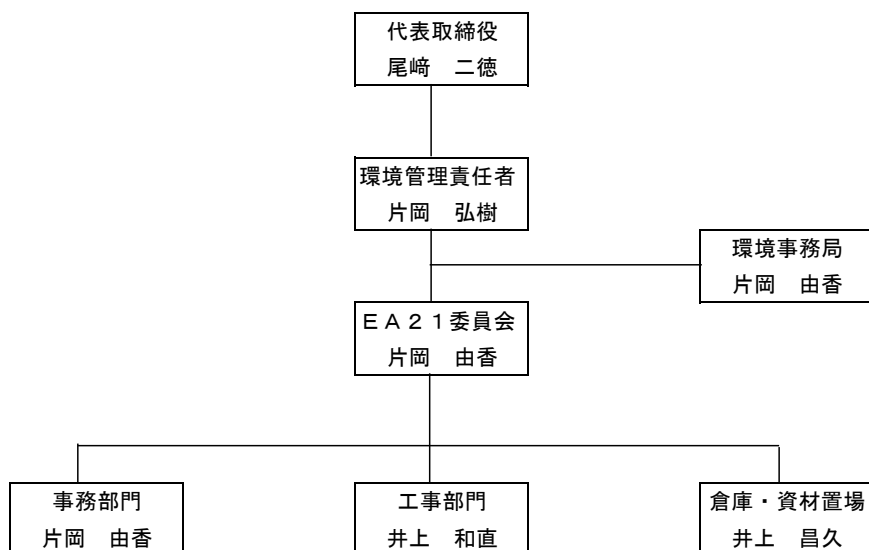
1. 建設工事において、環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。
2. 建設機械・車輛等の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 建設現場における騒音、振動の低減、濁水防止、防塵対策を図ります。
7. 環境に優しい資源の使用を促進します。
8. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
9. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
10. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。
11. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。

2023年 1月 5日

代表取締役

尾崎 二徳

4. 環境経営組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・ 代表者による全体評価と見直し実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・ 自部門に関する環境経営計画の実施、達成状況報告 ・ 自部門に関する緊急事態訓練の実施 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

○軽油使用量の削減は重機運転時はフル運転しない（エコモード運転）し、低騒音・排出ガス対策重機の使用つとめました。

○燃料使用量の削減については、ハイブリッドカーの導入（2021年8月：1台）を行いました。

○電力使用量の削減については、事務所照明のLED化を行いました。

○環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（2回）、近隣の清掃活動（4回）実施しております。



写真

<株式会社不二土木 の物質フロー>（2023年度）



6. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

(2023年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2017年1月から 2019年12月 3年間平均値	2023年度 目標 2023.1~2023.12
売上高		百万円	145	140
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,290	11,800
	原単位	(ℓ/百万円)	84.8	84.3
軽油使用量	総量	(ℓ)	29,509	28,500
	原単位	(ℓ/百万円)	203.5	203.6
灯油使用量	総量	(ℓ)	301	289
	原単位	(ℓ/百万円)	2.1	2.1
電力使用量	総量	(kWh)	5,569	5,400
	原単位	(kWh/百万円)	38.4	38.6
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	109,074	105,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	752.2	750.0
用水使用量	総量	(m ³)	107.0	103
	原単位	(m ³ /百万円)	0.7	0.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	109
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	100	100
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(19件/19件)	100%
環境美化活動	総量	(回)	6	6

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成29年度実績)
(平成30年12月27日公表)の四国電力の調整後排出係数0.535(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2017年1月~2019年12月 3年間 平均値	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	145	150	135	140
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,290	11,700	11,600	11,500
	原単位	(ℓ/百万円)	84.8	78.0	85.9	82.1
軽油使用量	総量	(ℓ)	29,509	28,000	27,700	27,500
	原単位	(ℓ/百万円)	203.5	186.7	205.2	196.4
灯油使用量	総量	(ℓ)	301	286	283	260
	原単位	(ℓ/百万円)	2.1	1.9	2.1	1.9
電力使用量	総量	(kWh)	5,569	5,300	5,200	5,100
	原単位	(kWh/百万円)	38.4	35.3	38.5	36.4
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	109,074	104,000	103,000	102,500
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	752.2	693.3	763.0	732.1
用水使用量	総量	(m ³)	107	102	101	100
	原単位	(m ³ /百万円)	0.7	0.7	0.7	0.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	108	107	106
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.7	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	100	100	100	100
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.7	0.7	0.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(19件/19件)	100%	100%	100%
環境美化活動	総量	(回)	6	6	6	6

7. 環境経営計画 (2023年度)

期間： 2023年 1月 ~ 2023年 12月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	井上 和直	2023.1~2023.12
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止	井上 和直	2023.1~2023.12
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	井上 和直	2023.1~2023.12
		○タイヤ圧点検、車両整備点検	井上 和直	2023.1~2023.12
		○出来るだけ相乗りで行く	井上 和直	2023.1~2023.12
	電力使用量 削減	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○照明のLED化(場所:本社)	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○エアコンの設定温度(暖房20℃、冷房28℃)	片岡 由香	2023.1~2023.12
	○不使用時のパソコンの電源OFF	片岡 由香	2023.1~2023.12	
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水意識を徹底するため節水ラベルを貼る	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○定期的な漏水チェック	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○洗車用水の節約	片岡 由香	2023.1~2023.12
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○こまめな分別	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○両面コピー、縮小コピーの実施	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○印刷前の文章チェック	片岡 由香	2023.1~2023.12
	産業廃棄物	○再生、再利用に努める	井上 和直	2023.4~2023.12
		○廃棄物を分別し、できるだけ再生資源化処理業者委託する	井上 和直	2023.4~2023.12
	○適切な施工による産廃排出量の抑制	井上 和直	2023.4~2023.12	
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	井上 和直	2023.4~2023.12
		○騒音・振動防止・汚濁防止	井上 和直	2023.4~2023.12
		○低騒音・排出ガス対策型機械の使用	井上 和直	2023.4~2023.12
社会貢献活動		○会社周辺の清掃活動	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○現場周辺の清掃活動	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○ロードボランティアへの参加	片岡 由香	2023.1~2023.12
		○環境団体への参加・支援	片岡 由香	2023.1~2023.12

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2017年1月から 2019年12月 3年間平均値	2023年度 目標 2023.1-2023.12	2023年度 実績 2023.1-2023.12	実績値/目標値 達成率 (%)	評価
売上高		百万円	145	140	113		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,290	11,800	9,475	80%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	84.8	84.3	83.8	99%	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	29,509	28,500	12,048	42%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	203.5	203.6	106.6	52%	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	301	289	289	100%	○
	原単位	(ℓ/百万円)	2.1	2.0	2.6	124%	×
電力使用量	総量	(kWh)	5,569	5,400	5,269	98%	○
	原単位	(kWh/百万円)	38.4	38.6	46.6	121%	×
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	109,074	105,000	56,605	54%	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	752.2	750.0	500.9	67%	○
用水使用量	総量	(m ³)	107	103	83	81%	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.7	0.7	0.7	100%	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	109	74	68%	○
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8	0.7	88%	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	100	100	198.1	198%	×
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.7	1.8	257%	×
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(19件/19件)	100%	100%(13件/13件)	100%	○
環境美化活動	総量	(回)	6	6	6	100%	○

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数（29年度実績）

（平成30年12月公表）の四国電力の調整後排出係数0.535（kg-CO₂ / kWh）を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○濁水防止対策の実施

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

* 3. 達成率 : 達成率 = (実績値/目標値) × 100 (%)

* 4. 評価 : 達成 = ○、未達成 = × で記載する。

<環境経営目標未達成等理由>

産業廃棄物排出量：本年度は、構造物取壊しの工事が多くて前年度比較でも約2倍となっている。

<過去の実績>

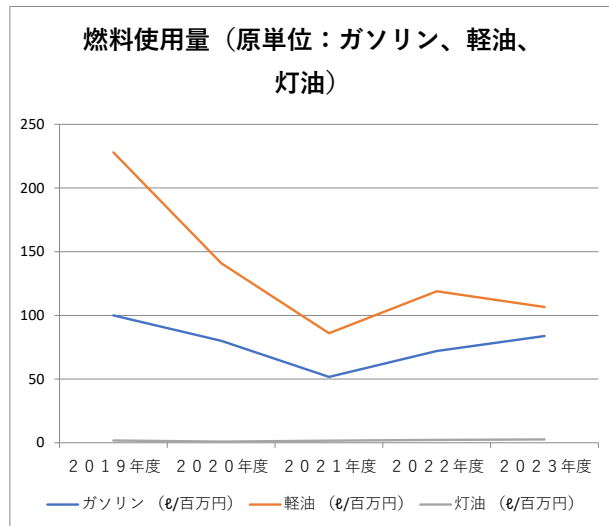
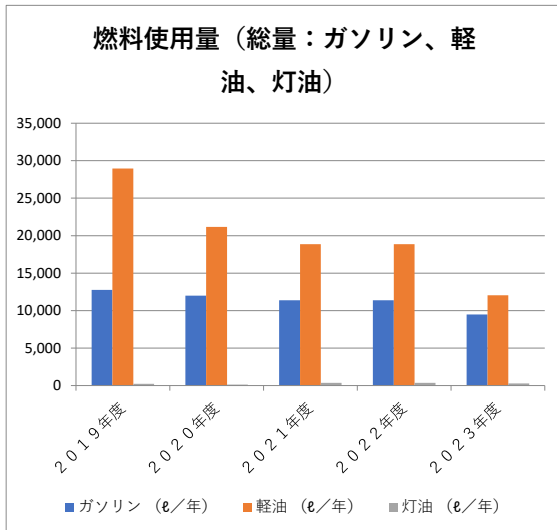
項目	総量・原単位	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
			実績(基準年)	実績	実績	実績	実績
売上高		百万円	127	150	220	158	113
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,762	12,001	11,372	11,371	9,475
	原単位	(ℓ/百万円)	100.5	80.0	51.7	72.0	83.8
軽油使用量	総量	(ℓ)	28,950	21,160	18,862	18,862	12,048
	原単位	(ℓ/百万円)	228.0	141.1	85.7	119.4	106.6
灯油使用量	総量	(ℓ)	228	139	368	368	289
	原単位	(ℓ/百万円)	1.8	0.9	1.7	2.3	2.6
電力使用量	総量	(kWh)	5,493	6,434	5,894	5,763	5,269
	原単位	(kWh/百万円)	43.3	42.9	26.8	36.5	46.6
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	102,727	85,923	79,116	79,046	56,605
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	808.9	572.8	359.6	500.3	500.9
用水使用量	総量	(m ³)	103	118	166	166	82.8
	原単位	(m ³ /百万円)	0.8	0.8	0.8	1.1	0.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	80	379	107	155	73.8
	原単位	(kg/百万円)	0.6	2.5	0.5	1.0	0.7
産業廃棄物排出量	総量	(t)	100	100	147	24.2	198.1
	原単位	(t/百万円)	0.8	0.7	0.7	0.2	1.8
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(19件/19件)	100%(16件/16件)	100%(14件/14件)	100%(12件/12件)	100%(13件/13件)
環境美化活動	総量	(回)	6	6	6	6	6

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2019年度	12,762	28,950	228
2020年度	12,001	21,160	139
2021年度	11,372	18,862	368
2022年度	11,371	18,862	368
2023年度	9,475	12,048	289

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2019年度	100	228	1.8
2020年度	80	141	0.9
2021年度	52	86	1.7
2022年度	72	119	2.3
2023年度	84	107	2.6

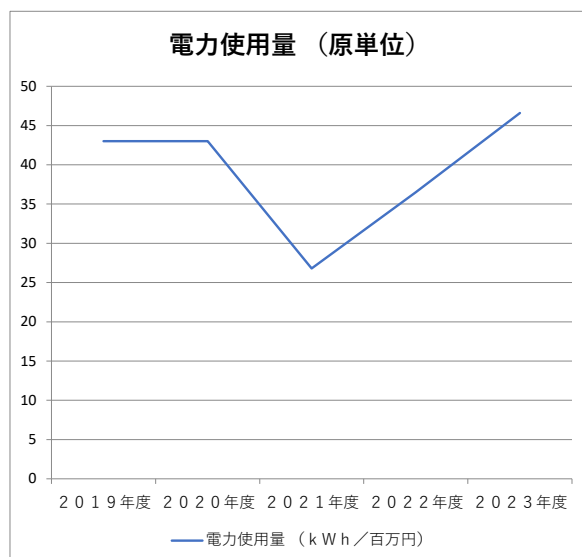
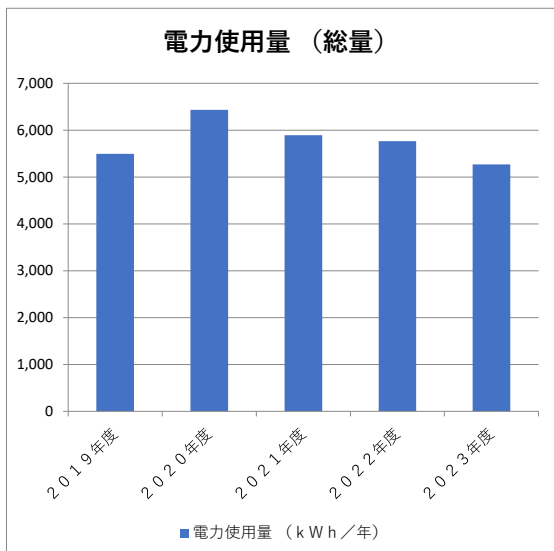


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	5,493
2020年度	6,434
2021年度	5,894
2022年度	5,763
2023年度	5,269

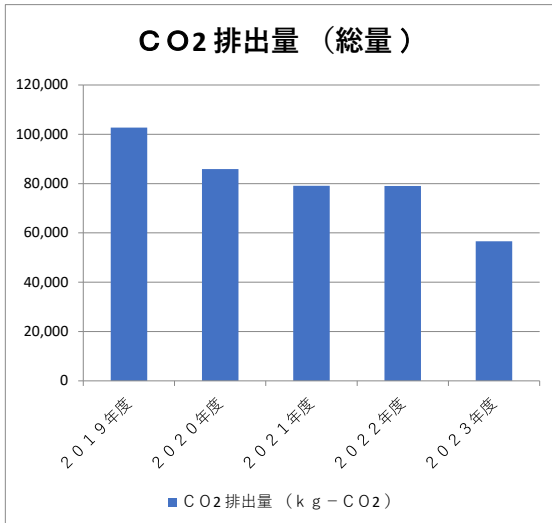
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	43
2020年度	43
2021年度	27
2022年度	37
2023年度	47



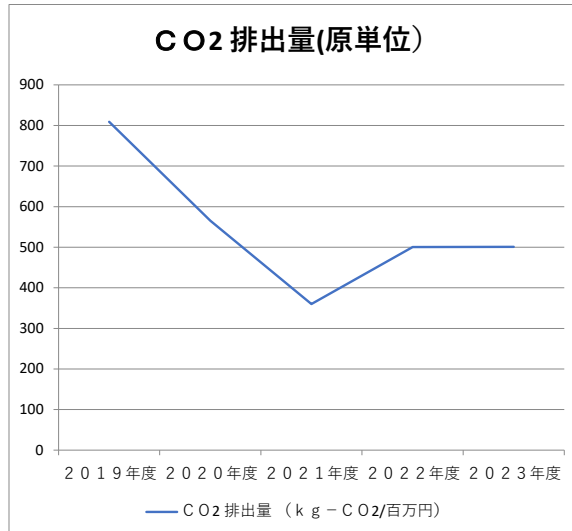
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2019年度	102,727
2020年度	85,923
2021年度	79,116
2022年度	79,046
2023年度	56,605



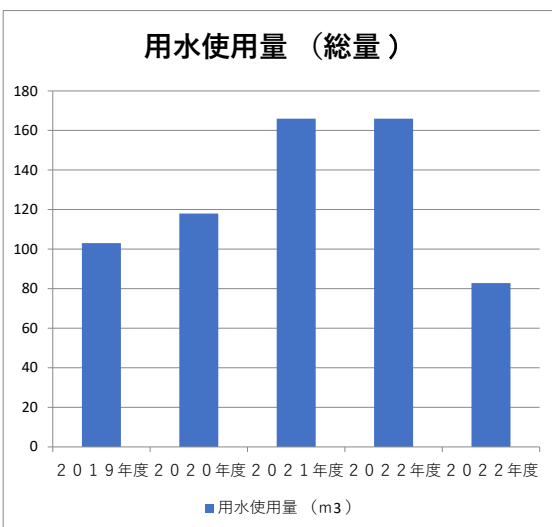
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2019年度	809
2020年度	565
2021年度	360
2022年度	500
2023年度	501



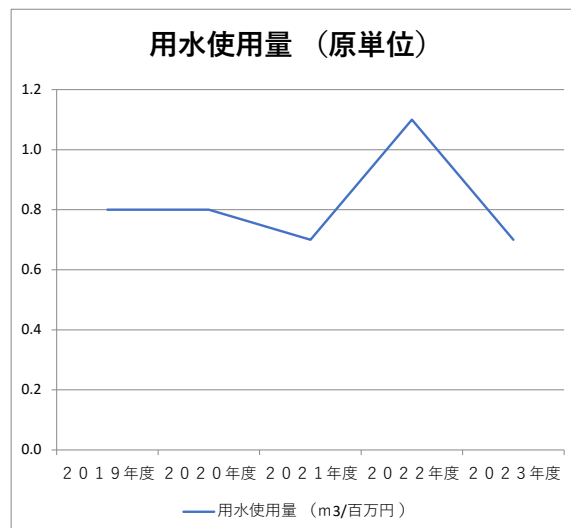
用水使用量(総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2019年度	103
2020年度	118
2021年度	166
2022年度	166
2023年度	82.8



用水使用量(原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	0.8
2020年度	0.8
2021年度	0.7
2022年度	1.1
2023年度	0.7



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

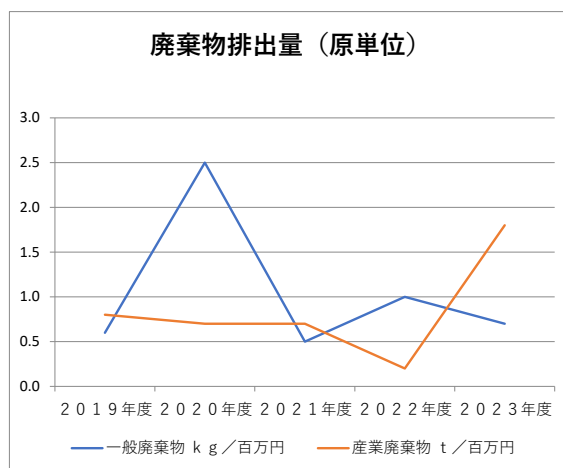
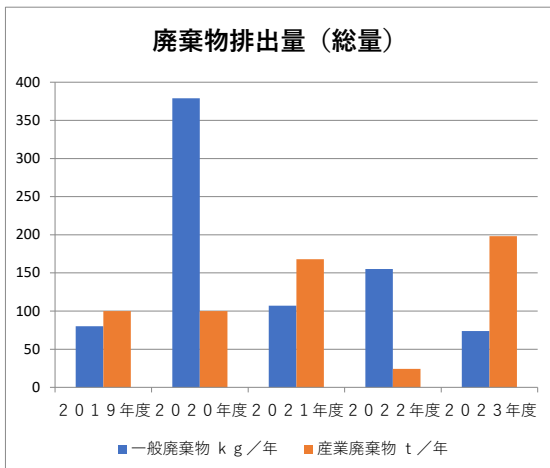
単位:一般廃棄物 kg/年
単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2019年度	80	100
2020年度	379	100
2021年度	107	168
2022年度	155	24.2
2023年度	73.8	198.1

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

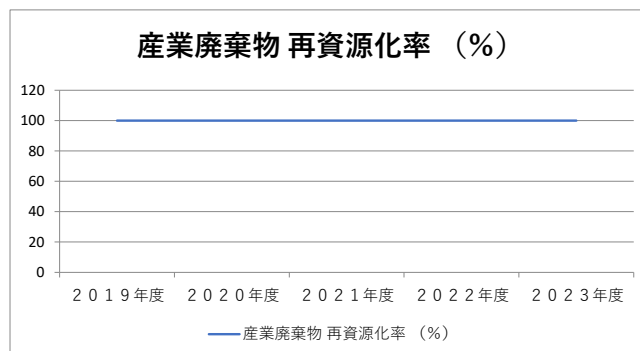
単位:一般廃棄物 kg/百万円
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2019年度	0.6	0.8
2020年度	2.5	0.7
2021年度	0.5	0.7
2022年度	1.0	0.2
2023年度	0.7	1.8



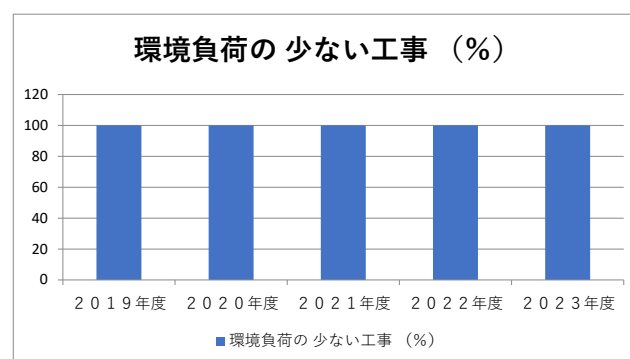
産業廃棄物再資源化率(%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



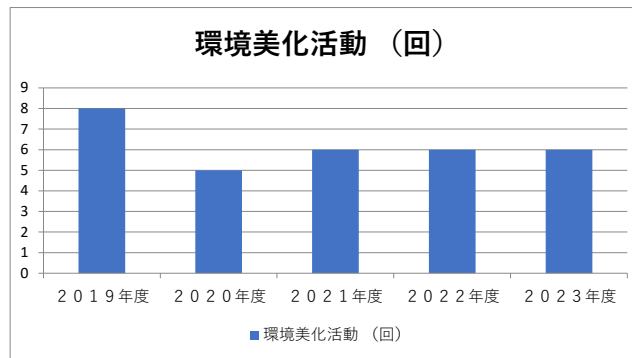
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2019年度	8
2020年度	5
2021年度	6
2022年度	6
2023年度	6



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 1月 ～ 2023年 12月

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○重機、車両のアイドリングストップ ○車両の急発進・急停止・急加速の禁止 ○重機はフル運転しない。(エコモード運転) ○タイヤ圧点検、車両整備点検 ○出来るだけ相乗りで行く 	各項目、取組が出来た。	<ul style="list-style-type: none"> ・各車両・重機における管理担当者を決め、各担当者が行う点検と車両等修理票による日々の維持が出来た。 	現状を維持する。
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○不要照明の消灯(人のいない場所の消灯) ○照明のLED化(場所:本社) ○エアコンの設定温度(暖房20℃、冷房28℃) ○不使用のパソコンの電源OFF 	習慣化され取組が出来ている。	習慣化されており効果あり	現状を維持する。
水使用量削減 (排水量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ○節水意識を徹底するため節水ラベルを貼る ○定期的な漏水チェック ○洗車用水の節約 	各項目、取組が出来た。	取組による成果が出ている。	現状を維持する。	
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○コピー用紙の裏紙使用 ○ごまめな分別 ○両面コピー、縮小コピーの実施 ○印刷前の文章チェック 	分別は習慣化され取組が出来た。 紙の再利用や再資源化の為の分別はある程度出来ているがミスプリントが多い。	習慣化されて紙の再利用や分別徹底は行われているが、排出数量は目標を達成できていない。一番多い紙ゴミの抑制に努めること。	削減に向けてより一層努めること
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○再生、再利用に努める ○廃棄物を分別し、できるだけ再資源化処理業者委託する ○適切な施工による産廃排出量の抑制 	適正に処理され、取組が出来た。	施工担当者が施工段階より考慮し、効果的実施出来た。	
環境負荷の少ない工事	<ul style="list-style-type: none"> ○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用 ○騒音・振動防止・汚濁防止 ○騒音・排出ガス対策型機械の使用 	各項目、取組が出来た。	低燃費機種仕様の仕様や省エネ活動により効果出ている	現状を維持する。	
化学物質排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○会社周辺の清掃活動 ○現場周辺の清掃活動 ○ロードボランティアへの参加 ○環境団体への参加・支援 	記載の活動内容は十分に出来ている。	問題なくできている。	現状を維持する。	

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



社用車の更新

2021年 8月に社用車1台をハイブリッド車に更新しました。燃料使用量は従来の19km/Lから23km/Lに削減され、ガソリン使用量が削減されています。



急発進・急加速・急停止の禁止

2021年 5月に社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



車両の定期点検

車両・ダンプの適正な整備をする。



車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は、必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



本社事務所 LED照明設置

(2022年 1月設置)

本社事務所の照明 (14本) を蛍光灯からLEDに更新しました。



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み (12時~13時) 消灯し、節電に努めています。

2. 用水使用量の削減



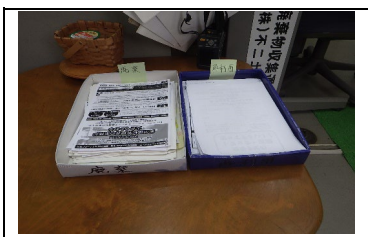
節水シール貼付

(2020年 5月設置)

本社事務所内の水道蛇口 (1ヶ所) に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

3. 廃棄物の削減

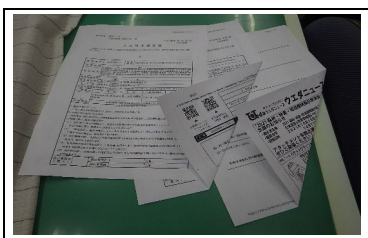
(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱: 2019年 5月設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを行っています。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し。産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場では努力しています。

4. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称: 令和5年度社会資本整備総合交付金事業 町道寺村大板線改良工事

工事期間: 2023年 8月 24日 ~ 2024年 2月29日

工事場所: 高知県吾川郡仁淀川町大板

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称: 令和5年度社会資本整備総合交付金事業 町道寺村大板線改良工事

工事期間: 2023年 8月 24日 ~ 2024年 2月29日

工事場所: 高知県吾川郡仁淀川町大板

工食用材料の、路盤材に再生砕石を使用し、環境負荷低減に努めました。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称: 桑ノ川山(4)復旧治山工事(明許)

工事期間: 2023年 6月 14日 ~ 2024年2月29日

工事場所: 高知県長岡郡本山町桑ノ川山国有林4林班

工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



濁水防止対策の実施

工事名称: 令和5年度社会資本整備総合交付金事業 町道寺村大板線改良工事

工事期間: 2023年 8月 24日 ~ 2024年 2月29日

工事場所: 高知県吾川郡仁淀川町大板

工事現場から発生する濁水を沈砂池を設置し、きれいな上水のみを排出し、工事か場所周辺が汚れないよう努めました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

仁淀川町周辺及び国道439号線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。

(年2回実施)

10. 次年度の取組内容

環境経営目標

(2024年度)

(1) 単年度目標

(2024年度目標の場合)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2017年1月から 2019年12月 3年 間平均値	2024年度 目標 2024.1-2024.12
売上高		百万円	145	150
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,290	11,700
	原単位	(ℓ/百万円)	84.8	78.0
軽油使用量	総量	(ℓ)	29,509	28,000
	原単位	(ℓ/百万円)	203.5	186.7
灯油使用量	総量	(ℓ)	301	286
	原単位	(ℓ/百万円)	2.1	1.9
電力使用量	総量	(kWh)	5,569	5,300
	原単位	(kWh/百万円)	38.4	35.3
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	109,074	103,984
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	752.2	693.2
用水使用量	総量	(m ³)	107	102
	原単位	(m ³ /百万円)	0.7	0.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	108
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.7
産業廃棄物排出量	総量	(t)	100	100
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(19件/19件)	100%
環境美化活動	総量	(回)	6	6

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数（平成29年度実績）
（令和5年5月26日公表）の四国電力の調整後排出係数0.532（kg-CO₂/kWh）を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合（%）
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2017年1月~2019年12月 3年間 平均値	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	145	135	140	130
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	12,290	11,600	11,500	11,450
	原単位	(ℓ/百万円)	84.8	85.9	82.1	88.1
軽油使用量	総量	(ℓ)	29,509	27,700	27,500	27,000
	原単位	(ℓ/百万円)	203.5	205.2	196.4	207.7
灯油使用量	総量	(ℓ)	301	283	280	260
	原単位	(ℓ/百万円)	2.1	2.1	2.0	2.0
電力使用量	総量	(kWh)	5,569	5,200	5,100	5,050
	原単位	(kWh/百万円)	38.4	38.5	36.4	38.8
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	109,057	102,984	102,485	102,485
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	752.1	762.8	732.0	788.3
用水使用量	総量	(m ³)	107	101	100	100
	原単位	(m ³ /百万円)	0.7	0.7	0.7	0.8
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	114	107	106	106
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	100	100	100	100
	原単位	(t/百万円)	0.7	0.7	0.7	0.8
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(19件/19件)	100%	100%	100%
環境美化活動	総量	(回)	6	6	6	6

10. 次年度の取組内容

環境経営計画

(2024年度)

期間： 2024年 1月 ~ 2024年 12月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○無人状態の長い停車時はエンジンを切る	井上 和直	2024.1~2024.12
		○アクセル開閉度80%で使用	井上 和直	2024.1~2024.12
		○現場に見合った重機の選定	井上 和直	2024.1~2024.12
		○タイヤ圧点検、車両整備点検	井上 和直	2024.1~2024.12
		○出来るだけ相乗りで行く	井上 和直	2024.1~2024.12
	電力使用量 削減	○長時間使用しないものはコンセントを抜く	片岡 由香	2024.1~2024.12
		○照明のLED化（場所：本社）	片岡 由香	2024.1~2024.12
		○エアコンの設定温度（暖房20℃、冷房28℃）	片岡 由香	2024.1~2024.12
		○冬季の暖房は、エヤコン使用を止め、できるだけストーブ又は温風ヒーターを活用する。	片岡 由香	2024.1~2024.12
用水使用量削減 (排水量削減)	○節水意識を徹底するため節水ラベルを貼る	片岡 由香	2024.1~2024.12	
	○水道栓の閉め忘れ防止	片岡 由香	2024.1~2024.12	
	○洗車用水の節約	片岡 由香	2024.1~2024.12	
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	片岡 由香	2024.1~2024.12
		○失敗したコピー用紙はメモ用紙として使用	片岡 由香	2024.1~2024.12
		○両面コピー、縮小コピーの実施	片岡 由香	2024.1~2024.12
		○不必要なプリントアウトをしない	片岡 由香	2024.1~2024.12
	産業廃棄物	○再生、再利用に努める	井上 和直	2024.4~2024.12
		○廃棄物を分別し、できるだけ再資源化処理業者委託する	井上 和直	2024.4~2024.12
○適切な施工による産廃排出量の抑制	井上 和直	2024.4~2024.12		
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	井上 和直	2024.4~2024.12	
	○汚濁防止対策の実施 砂袋・土嚢等を準備し、汚濁流出を防止する。	井上 和直	2024.4~2024.12	
	○低騒音・排出ガス対策型機械の使用	井上 和直	2024.4~2024.12	
社会貢献活動	○会社周辺の清掃活動	片岡 由香	2024.1~2024.12	
	○現場周辺の清掃活動	片岡 由香	2024.1~2024.12	
	○ロードボランティアへの参加	片岡 由香	2024.1~2024.12	
	○環境団体への参加・支援	片岡 由香	2024.1~2024.12	

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

(環境関係法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第12条の3	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第12条の37項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15 第18条の17 第18条の20 第18条の22 第18条の23	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。 ○特定粉じん作業開始の14日前までに都道府県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改造：請負代金 100万円以上 ○特定工事の元請け業者若しくは下請け業者は特定粉じん排出作業において作業基準を遵守 ○元請業者の下請に対する粉じん排出作業を適切に行うよう指導 ○特定粉じん作業完了後、結果を遅滞なく発注者に書面で報告と記録の作成保管	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
労働安全衛生法 （解体工事）	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前までに）	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長宛に提出（作業前）	必要時			
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：3.7kW以上 ○エアコンの簡易点検	1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3ヶ月	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
浄化槽法	第5条 第10条 第11条	○浄化槽の設置の届出 ○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 ○年1回の水質検査実施	着工21日前 年1回	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5

(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
仁淀川町の河川、森林、環境等の再生に関する条例	第5条	○事業者は、その所有し、又は管理する土地の自然環境の保全・改修に心掛けるとともに、町が実施する新しい施策に積極的に協力する。	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第5条3	○事業者は、河川改修及び道路の改修等で自然環境を破壊しないように細心の注意を払い、河川等の工事による汚濁等が排出しないようにつとめる	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5
	第5条4	○事業者は、河川改修及び道路の改修等で自然環境を破壊した部分の再生を「近自然工法」で図るよう努める	必要時	片岡 弘樹	厳守	2024.1.5

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年 1月1日より 2023年 12月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

代表者

尾崎 二徳

代表者による全体評価と見直しの結果

■ 定期見直し

□ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況 2023年 1月より2023年 12月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。				変更の必要性： □有 ■無	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2023年 1月より2023年 12月まで、問題点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。				・環境経営方針の見直しはありません。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 特にありません。					
<改善提案> 特になし				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】	
				変更の必要性： □有 ■無	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				・環境経営目標の見直しはありません。	
				・環境管理組織体制については、現状を維持する。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
ガソリン使用量	○	○	目標、計画を継続する。		
軽油使用量	○	○	目標、計画を継続する。		
電気使用量	○	○	目標、計画を継続する。		
CO2排出量	○	○	目標、計画を継続する。		
一般廃棄物搬出量	○	○	削減により一層務めること。		
産業廃棄物搬出量	×	×	目標、計画を継続する。	【その他】	
産業廃棄物再資源化	○	○	目標、計画を継続する。	変更の必要性： □有 ■無	
環境負荷の少ない工事	○	○	目標、計画を継続する。	エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
<改善提案> 特になし					
【周囲の変化の状況】				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)	
①外部コミュニケーション記録より 2023年 1月より2023年 12月まで、外部からの苦情及び要望はありませんでした。				・環境経営目標については、大概の項目で達成できている。	
②環境関連法規制等の動向他 当社における、環境関連法規に改定の対象となるものはありませんでした。				環境経営計画については、取組は十分できている。法厳守についても違反なく、外部からの苦情要望はなく、問題ない。	
<改善提案> 特になし				・今後も環境負荷の低減・削減に努め、見直し改善を行いながら有益な環境マネジメント活動を有効に継続していくこと。	
代表者が自ら得た情報					
・国、高知県では、「SDGs」の取組を加速させている。					

13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2021年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2022年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2023年
公益社団法人高知県森と緑の会	緑の募金	2023年

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
須川林道（安芸署管内における森林ボランティア活動）	2022年7月
須川林道（安芸署管内における森林ボランティア活動）	2023年7月
88クリーンウオーク	2023年8月



社員1人が、千ヶ谷森づくり事業に参加し、森の下草刈りに参加しました。

千ヶ谷森づくり事業
（2012年 6月設置）

3. 協会清掃活動

支援イベント名	実施年月
「土木の日」の道路清掃（ロードボランティア活動）	2023年11月

SDCsNo. 3の取組 高齢者の雇用（65歳以上 5名）